

P T A交通安全指導ボランティアについて

■活動の目的■

この活動は、主に交通量の多い横断歩道等の地点において『安全な横断』『安心な通学』のために、1～2名で誘導旗を用いて子どもたちの見守りを行うものです。

■活動日■

長期休み明けの初日から3日間（夏、冬、春）

■活動時間■

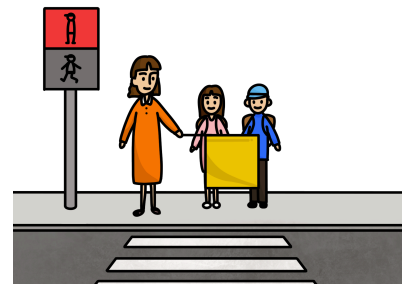
7：50～8：20頃までの30分程度を目安とします。

（各地点のピークに合わせて7：50より前に時間をずらしても構いません。）

■活動の内容■

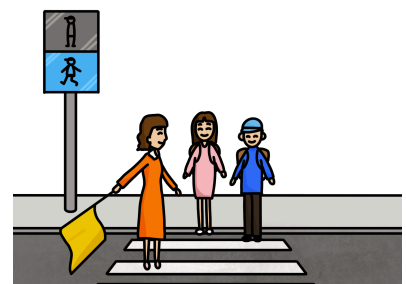
歩行者が赤信号のとき

- 横断中の歩行者がいないことを確かめて、誘導旗を道路と平行に伸ばします。信号待ちの歩行者がいないときは、誘導旗を下ろしても構いません。



歩行者が青信号のとき

- 車が完全に止まったこと・暴走する車がないことを確認します。誘導旗を道路に向かって直角に伸ばし、自ら歩車道に出て、歩行者に対して「渡っていいですよ」とひと声かけて渡させます。
- 歩行者が完全に道路を渡りきるまで、駆け込んでくる歩行者や、誘導旗を無視して走ってくる車がないかどうか気をつけます。
ただし、車は急に止まれないので旗を出すタイミングにも十分気をつけてください。
- 待ってくれた運転者には、誠意の意味を込めて会釈をしましょう。



※ご自身の安全を第一に考えて行動してください。

■誘導旗の貸与■

誘導旗は、長期休み前にお子様を通じて担任の先生からお渡しすることを予定しています。活動が終わりましたら、速やかに直接学校へ、もしくはお子さまを通して誘導旗を担任の先生に返却してください。

■活動地点■

